

## 世界で活躍する

## 樹脂製バルブの生産体制を確立

樹脂製バルブの世界的メーカー旭有機材(株)の下請け企業として樹脂製バルブ部品の加工を行う同社。増え続ける生産依頼に対応するために、数値制御で自動加工できるNC旋盤を導入しました。



代表取締役

野中 直樹  
のなか なおき

これから加工する材料を多数ストックできるワークストッカーを内蔵しています。



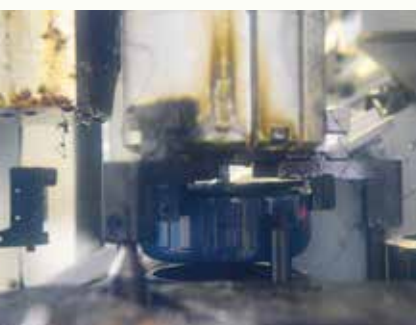
## ものづくりへの想い

バルブの部品は手のひらサイズの小さなものですが、これが無ければバルブはできない。ここ延岡でつくった部品が世界中で活躍している。そこに寄与できていることが誇りです。

## 今後の展望

一昨年に第二工場を構えることができたので取引先を増やしていくことと、樹脂だけでなく金属の加工にも取り組みたい。いずれは自社製品にもチャレンジしたいです。

ワークストッカーから自動で未加工品を脱着する機械バンド。以前は人手で行っていたためオペレーターが付きっきりでした。



4台の機械を担当するオペレーター。NC旋盤導入後、年間で108,000個もの増産が可能になりました。

AFTER BEFORE



人手を増やすことなく  
加工数が大幅にアップ。

## 「樹

脂製バルブは、薬品や海水など金属バルブだと錆びてしまうような箇所に使われています。旭有機材(株)の製品は世界各国で使われているので、当社としてもJIS(日本産業規格)はもちろん、アメリカ、ヨーロッパの工業規格を満たす部品を加工しています」(野中社長)

そんな同社は月間15〜20万点の部品を加工しており、生産依頼はさらに増え続けています。そんな好況の中、現状の作業員数と設備では増加分の生産に対応することができず、みすみす仕事を逃す機会もあったのだそうです。

## 人

手を増やすことなく生産性を上げるにはどうすればいいのかを検討した同社は、大量生産に打って付けのNC旋盤を導入しました。

「この機械は未加工品を多数ストックできる上、これまで人手で行っていた旋盤機への脱着から排出までのすべてを自動でできるんです。したがってオペレーターが付きっきりにならなくて済み、並行して他の機械のオペレーションも可能です」

導入前は一人の作業員が3台の機械を同時に見ていたのですが、ローダー付きのNC旋盤にはほとんど人手がいらないため、合わせて4台の機械を見られるようになりました。その分一人当たりの加工数は増え、会社の売上も導入前の2倍になっています。

「労働人口が減少する中、生産量と品質を維持していくには機械の力が必要です。今後は多関節ロボットなども導入して無人化にも取り組んでいきたいですね」

case  
03プラスチック製品製造業  
株式会社 TANI

設立:1959年  
代表取締役:野中 直樹  
資本金:1,000万円  
従業員:28名  
事業内容:塩化ビニル製バルブ部品の製造

〒882-0032  
宮崎県延岡市中の瀬町2丁目5895  
TEL.0982-23-7150  
FAX.0982-23-7157

ものづくり  
補助金活用  
ココが  
ポイント!



生産性が大幅に向上

1人当たりの  
1カ月加工数  
プラス1,800個

NC旋盤自体の生産能力に加え、一人で同時に4台の機械を見ることができるようになったことで、一人が1カ月に加工できる数が5,400個から7,200個へ。

